

米国 ヘッドラインよりも堅調な小売売上高(15年 7 月小売売上高)

発表日：2015年8月13日(木)

～コア小売の拡大モメンタムは一段と強まった～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン	
14/11	+0.5	(+4.7)	+0.2	+1.4	+1.7	+0.1	▲0.0	+0.1	+2.0	▲2.0
14/12	▲0.9	(+3.3)	▲0.9	▲0.8	▲0.9	+1.4	▲1.6	▲1.4	▲1.1	▲7.9
15/01	▲0.8	(+3.7)	▲1.1	+0.6	+0.6	▲0.3	▲0.4	▲1.6	▲1.0	▲9.9
15/02	▲0.5	(+1.9)	▲0.1	▲2.0	▲2.2	▲1.4	▲1.6	+0.1	+0.3	+2.5
15/03	+1.5	(+2.1)	+1.0	+3.0	+3.5	+2.4	▲0.3	+0.9	+1.1	+1.1
15/04	+0.0	(+1.3)	▲0.1	+0.1	+0.6	+0.7	+0.3	▲0.2	+0.2	▲0.9
15/05	+1.2	(+2.5)	+1.0	+1.4	+1.9	+1.6	▲0.5	+1.3	+1.9	+3.9
15/06	+0.0	(+1.8)	+0.4	▲0.9	▲1.5	▲1.0	+1.1	+0.4	▲0.9	+1.8
15/07	+0.6	(+2.4)	+0.4	+1.1	+1.4	+0.8	▲1.2	+0.3	+0.4	+0.4

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

7月小売・飲食サービス売上高は前月比+0.6%、コア小売売上高は同+0.3%と加速

15年7月の小売・飲食サービス売上高は、自動車、家具などが増加に転じたことにより、前月比+0.6% (前月同+0.0%) と加速した。市場予想中央値の同+0.6%と一致したが、5、6月合計で0.5%上方修正されたことを考慮すれば、市場予想よりも良い内容。内訳を見ると、家電、百貨店など一般小売が減少に転じたほか、薬局、ガソリンスタンドが鈍化した。一方で、自動車・同部品 (前月比+1.4%)、家具、衣料品、スポーツ用品・本・趣味用品、セールの行われた通信販売 (前月比+1.5%) が増加に転じたほか、建設資材、飲食店、その他小売が加速した。また、食品・飲料は変わらずとなった。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、通信販売、飲食店、建設資材等の増加を背景に、前月比+0.4% (前月同+0.4%) と市場予想と一致した。ただし、5、6月合計で0.7%上方修正されており、小売は市場予想よりも堅調。

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高 (自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高) は、前月比+0.3% (前月同+0.2%) と小幅加速した。家電、百貨店など一般小売が減少に転じたほか、薬局が鈍化した一方で、家具、衣料品、スポーツ用品・本・趣味用品、通信販売が増加に転じ、飲食店、その他小売が加速した。なお、5、6月合計で0.4%上方修正されたことで、4-6月期の実質個人消費は、速報の前期比年率+2.9%から同+3.1%に上方修正される見込み。

以上のように、7月の小売売上高は、前月に落ち込んだ自動車など耐久財の回復に加えて、通信販売が企業のセールなど一時的な要因もあり高い伸びとなったことで押し上げられた。小売売上高は、2月以降高い伸びと鈍化を繰り返しているが、雇用・所得の緩やかな拡大、借入基準の緩和、良好な金融情勢など家計取り巻く環境の改善を背景

に、拡大基調を維持している。

7月の小売・飲食サービス売上高では自動車 が最大の押し上げ

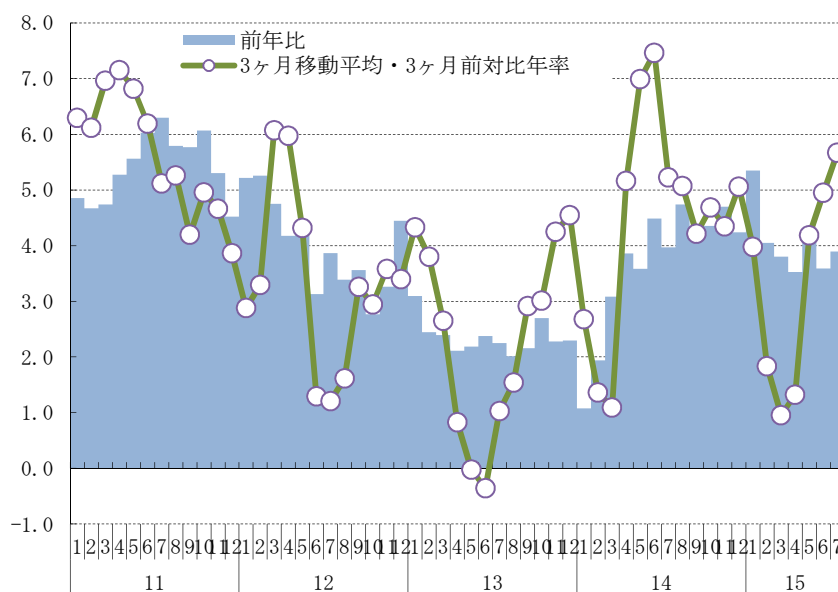
7月小売売上高の前月比（+0.57％）の寄与度をみると、マイナス寄与の業態では百貨店を含む一般小売が▲0.06％と最大の押し下げ寄与となり、次いで家電が▲0.02％となった。

一方、プラス寄与の業態では、自動車・同部品が+0.30％と最大の押し上げ寄与となった。他では寄与度の大きい順に、通信販売が+0.14％、飲食店が+0.08％、建設資材が+0.05％、ガソリンスタンドが+0.03％、家具が+0.02％、薬局が+0.02％、衣料品が+0.02％、スポーツ用品・本・趣味用品が+0.02％と続いた。食品・飲料、その他小売りは0.00％となった。

コア小売売上高は、3 ヵ月移動平均・3ヵ月 前対比年率+5.7％と 加速

小売売上高のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）をみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、5、6月の上方改定に加えて、ガソリン売上の増加等により+6.8％（前月+5.5％）とプラス幅を拡大した。また、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建設資材を除く小売・飲食サービス売上高）は、通信販売の高い伸びを背景に+5.7％（前月+4.9％）と、勢いを増した。

（％）
（図表）米国コア小売売上高の推移



（出所）米商務省